

令和7年度第1回さいたま市都市農業審議会

議事要旨

1. 日時

令和7年7月23日（水）10:00～11:45

2. 場所

議会棟2階 第7委員会室

3. 出席者

| 区分 | 人数 |
|----------------------|-----|
| さいたま市都市農業審議会委員 | 13名 |
| 事務局職員（農業政策課、農業環境整備課） | 9名 |

※委員については、別紙「委員出欠名簿」参照。

4. 公開又は非公開の別

公開（傍聴者 0人）

5. 開会

事務局より会議開催にあたり、次のことについて報告があった。

- ①定足数を満たしていることから、本日の審議会が成立していること。
- ②さいたま市情報公開条例第23条により会議は原則公開となっていること。
- ③傍聴者は、現在のところ0名であること。

6. 議題

(1) 議題1 「さいたま市農業振興ビジョン2021」プロジェクトの進捗状況について

事務局より、資料1をもとに説明後、質疑応答が行われた。

【質疑応答】

- ①12 ページ、紅赤は生産が難しいことや、生産者が減っていると聞いているが、紅赤の生産の現状について伺う。（高本委員）

紅赤は、紅赤研究会のメンバーの15名が積極的に生産。生産方法が難しく収量は十分ないため、提供が少ない状況と認識。市としても苗の提供や見沼グリーンセンターで試験栽培、技術の情報発信を行うなど引き続き支援していく。（事務局）

- ② 4 ページ、見沼田んぼの農業の活性化について、観光農園等の整備とは具体的に教えてほしい。(西形委員)

見沼田んぼで実際に耕作している方と地域住民との交流を目的とした「コスモスまつり」の経費支援による活性化を図るもの。令和6年度は見沼区大砂土エリアでコスモスまつりの支援を実施。また、観光農園等の整備については体験型農園の開設費用の補助を実施。(事務局)

- ③ 3 ページ、シェアリングサービスについて事業拡大してほしい。(西形委員)

トラクターや草刈り機の貸し出し等、大変好評であると認識。現在は新規就農者向けにシェアリングサービスの利用に係る補助金を交付しているが、引続き利用促進していきたい。(事務局)

シェアリングサービスについては、農協においても使える施設があれば支援したい。倉庫等の場所を検討しているため、よろしくお願ひしたい。(清水委員)

見沼区の拠点をもさらに増やすことも検討しているのでご協力をお願いしたい。(事務局)

- ④ 7 ページ。さいたま市全体の遊休農地は、現在どのくらいあるのか。また、経営耕地はどのくらいか。(宮地委員)

令和6年度の数値では遊休農地は約67ha。耕地面積は統計上3,130ha。(事務局)

※経営耕地面積(総農家):2,105ha(2020年農林業センサス(農林水産省)より)

- ⑤ 新規参入者はどのような農地を借りているのか。農地の貸借の特徴として、圃場整備がされている農地が動いているのか、小規模な農地が動いているのか伺う。(宮地委員)

担当者の感覚だが、基盤整備された優良農地は既存の担い手が作っていくケースが多い。既存の担い手が耕作できなくなり規模縮小してくなかで、そのような小規模な農地は貸付意向がでてきて、新規就農者や企業が借りる傾向。(事務局)

- ⑥9 ページ、スマート農業の件数について、補助金件数は1件とのことだが、想定より少ないのか、少ないのであれば理由も伺いたい。(猪俣委員)

想定通りの件数。補助金メニューとしては、予算や、参入する企業の規模等を考慮し、1件分の予算であったところ。(事務局)

資料掲載のスマート農業は企業向けの内容。個人農家向けの補助メニューとして、補助上限1/2、最大200万円、年間予算600万円の事業も実施している。(渋沢委員)

周辺市と比較し、さいたま市は認定農業者への支援が手厚いのが特徴。予算規模も大きく、農業者も利用しやすい環境。更なる予算の拡充を希望したい。(濱野委員)

参考だが、個人向けのスマート農業の実績はP18に記載。
(渋沢委員)

- (2) 議題2. 今後の目標指標の設定について (R8~R12)

事務局より、資料1をもとに説明後、質疑応答が行われた。

【質疑応答】

- ⑦20 ページ、埼玉県も5か年の計画見直しがあるため、連携のほうよろしく
お願いしたい。基盤整備地区内の集積率は、さいたま中央地区に限る数値か。
(平井委員)

お見込のとおり。(事務局)

- ⑧各事業の目標値は何に焦点を当てて、何を達成するための数値なのか、事業
目標値について、特に重要となる上位目標について伺う。(猪俣委員)

農業振興ビジョンの上位計画である市の総合振興計画実施計画と関連
して整合性をとるように設定している。(事務局)

目標が達成されるとどのようなメリットがあるのかという点でいう
と、20ページの①農地が担い手に集積されると大規模区画で作業ができ
効率化が図れ、コスト削減できること、②農業用水路であれば、さいたま
市は水が入らないところが非常に多いため、水路が整備されると作業が
しやすくなり効率化が図れる。このようなメリットや目標のもと目標値
設定をされていると認識。(濱野委員)

国の大きな目標でいうと、食料の安全確保や農業の多面的機能の活性化、農村全体の活性化等、どれが一番大事というよりすべての取組をもって食料の安全確保を図っていくものと思料。(平井委員)

日本の農業の問題を具体化するとこのような形になるという認識。(清水委員)

数値目標の実績をみて、さいたま市の農業の足腰の強さを実感した。理由は新規就農者数が数値目標を上回っていることで少し明るい兆しを感じたこと。もうひとつの理由は、参入した法人数。地域に根差した法人が農地を借りたりしながら事業を継続していくようであれば、個々の農家も法人化の技術的な部分や経営ノウハウを意識しながら農業経営をしていける点で非常に意義があることだと考える。(宮地委員)

⑨コメ問題について。遊休農地を利活用した増産体制を組む等、コメ問題に対するさいたま市の方向性があれば伺いたい。(高本委員)

市独自の方向性を定めることは現状難しいため、国の動向を踏まえ、関係機関から情報収集しながら対応していきたい。(事務局)

イチゴなど、付加価値化に方向性がシフトしているところもあるが、米も大事であるためよろしくお願ひしたい。(高本委員)

C S A (地域支援型農業) の取組も広がっている。135万人の消費者が近くにいる環境のため、地域で支える農業を確立していくことを期待したい。(宮地委員)

7. その他

事務局より、下記のとおり報告があった。

- ・本年度第2回都市農業審議会について、現時点では開催予定なし。

8. 閉会

問合せ先

経済局 農業政策部 農業政策課 農業政策係
電話 048-829-1376

令和7年度第1回さいたま市都市農業審議会 委員出欠簿

| 区分 | 所属団体等 | 役職等 | 氏名 | 出欠 |
|------------|----------------------------|----------------------|--------------------|----|
| 学識経験者 | 日本大学 | 経済学部 教授 | みやち ただゆき 宮地 忠幸 | 出席 |
| 学識経験者 | 聖徳大学 | 人間栄養学部 人間栄養学科 准教授 | もとやま ようこ 本山 陽子 | 欠席 |
| 学識経験者 | 埼玉県 | さいたま農林振興センター所長 | ひらい としかず 平井 敏一 | 出席 |
| 農業者 | さいたま市農業委員会 | 会長 | にしかた ともゆき 西形 知行 | 出席 |
| 農業者 | さいたま農業協同組合 | 女性部 中部ブロック 副ブロック長 | のぐち ひろこ 野口 拓子 | 出席 |
| 農業者 | 南彩農業協同組合 | 女性部 岩槻支部 副支部長 | えんどう たかこ 遠藤 孝子 | 出席 |
| 農業者 | さいたま市女性農業者連絡 会 | 会長 | こじま たかこ 小島 隆子 | 出席 |
| 農業者 | さいたま市認定農業者連絡 協議会 | 会長 | はまの ひさし 濱野 恒 | 出席 |
| 農業関係 団体 | さいたま農業協同組合 | 代表理事組合長 | しみず せつお 清水 節男 | 出席 |
| 農業関係 団体 | 南彩農業協同組合 | 代表理事組合長 | きくち よしお 菊池 義雄 | 欠席 |
| 事業者 | イオンリテール株式会社 北関東・新潟カンパニー | エリア政策推進チーム | ながい のりこ 永井 紀子 | 出席 |
| 事業者 | 株式会社大宮中央青果市場 | 総務部 執行役員 | くげ けいこ 久家 慶子 | 出席 |
| 公募 | | | たかもと まさひろ 高本 正広 | 出席 |
| 公募 | | | いのまた なお 猪俣 菜央 | 出席 |
| 職員 | さいたま市 | 経済局農業政策部長 | しぶさわ けんじ 渋沢 健次 | 出席 |